

県直営による公の施設の管理運営状況

施設の名称	群馬県立図書館
所在地	前橋市日吉町一丁目9-1
所管部局・課	教育委員会 生涯学習課

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

社会教育法第9条、図書館法第10条、群馬県立図書館の設置及び管理に関する条例
--

2 施設の役割

<p>(1) 設置目的 県民が自ら学び、自ら考え、心の豊かさや生きがいを持って生活することのできる生涯学習社会を構築するため、県民にとって中核的な社会教育施設としての図書館サービスを提供する。</p> <p>(2) 設置当初の状況 現在の新館が昭和53年7月にオープンし、初年度の登録者は7,729人、貸出人員30,487人、貸出冊数58,215冊であった。</p> <p>(3) 施設を取り巻く現状 県民の生涯学習意欲は強く、地域の情報拠点としての課題解決・支援型図書館、高度な専門的情報を提供する図書館として、また県内公共図書館をネットワークする中核図書館として、その果たす役割が大きくなっている。 令和5年3月に、20年後を見据えた県立図書館の在り方を示す「群馬県立図書館の在り方検討報告書」を策定・公表した。</p>
--

3 施設の概要

設置年月日	昭和53年7月10日
敷地面積(所有者)	7,931.99平方メートル(群馬県)
主な施設(床面積、階数等)	6,691.69平方メートル、地上4階・地下1階建
建設費	1,269,279千円

◇入園料・利用料等 (円)		◇利用時間(休館日)
区分	金額	
コピー代	10	1. 開館時間(子ども読書相談室除く) (1) 平日 9:00-19:00 (2) 土曜日 9:00-18:00 (3) 日曜日 9:00-17:00 2. 休館日 (1) 毎週月曜日(祝日の場合火曜日) (2) 毎月最終木曜日 (3) 年末年始(12月28日～1月5日)特別整理年2回
マイクロフィルム複写	20	
CD-ROMプリントアウト	10	
オンラインデータベース(電子書籍を含む)	10	
カラーコピー	80	

4 施設における実施事業

<p>(1) 図書、視聴覚資料等の収集、保存、貸し出し及び高度な情報サービスの提供</p> <p>(2) 図書館未設置町村への図書の一括貸し出し</p> <p>(3) 県内公共図書館、大学・学校図書館との連携・協力及び相互貸借の実施</p> <p>(4) 群馬県図書館大会、講演会、講座等の開催による読書活動の普及・促進</p> <p>(5) 県内読書グループ、読み聞かせグループ等読書団体への協力、支援活動の実施</p> <p>(6) 子ども読書活動環境の整備(図書館こどもまつり等)</p>

5 管理運営コストの状況

施設の管理運営に係る収支 ※施設の管理運営に係る県の歳入・歳出を記載 (千円)							
区分	5年度(決算額)	4年度(決算額)	3年度(決算額)	2年度(決算額)	元年度(決算額)	H30年度(決算額)	H29年度(決算額)
歳入(①)	930	931	737	709	900	962	1,122
使用料	5	5	5	5	5	5	5
雑入(臨職社会保険料)	228	149	103	89	84	102	109
雑入(コピー代他)	697	777	629	615	811	855	1,008
歳出(②)	354,161	325,820	311,448	322,810	328,873	333,903	312,525
常勤職員	163,560	159,590	156,060	157,409	159,419	164,312	158,557
非常勤職員	50,224	48,280	40,056	37,331	39,334	39,501	42,302
修繕費	760	742	913	1,628	2,612	2,519	1,574
委託費	58,265	40,213	34,112	35,475	34,748	35,209	34,849
管理・事業費	81,352	76,995	80,307	90,967	92,760	92,362	75,243
歳入・歳出の差額(①-②)	-353,231	-324,889	-310,711	-322,101	-327,973	-332,941	-311,403
歳入・歳出の主な増減理由	30年度)修繕費:施設修繕件数増加 管理・事業費:本館図書資料、消耗品購入数増加 5年度)委託費・使賃料:図書館システム6次更新						

6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	5年度	4年度	3年度	2年度	元年度	H30年度	H29年度
常勤職員	22	22	22	22	21	22	22
非常勤職員	23	22	21	20	22	21	24
合計	45	44	43	42	43	43	46

7 施設利用の状況
年度別の利用者数

区分	5年度※1	4年度	3年度	2年度	元年度	H30年度	H29年度
年間利用者総数(人)	163,896	153,876	128,039	121,315	240,389	255,077	252,797
有料利用者数(人)							
	163,896	153,876	128,039	121,315	240,389	255,077	252,797
無料利用者数(人)							
目標利用者数(人)※2	—	—	—	—	—	—	—
施設稼働率(%)※3	—	—	—	—	—	—	—
稼働率対象施設(設備)							
利用者の主な増減理由	令和2年度以降における減の主な理由は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12時～13時までを休館とした日があったことなどが影響したものと考えられる。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類となったことから利用者数が回復しつつあると思われる。						

※1 令和5年度末時点の利用者数

※2 目標利用者数を設定していない場合は無記入

※3 施設稼働率の概念が当てはまらない施設は無記入

8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区分	内容
施設の必要性	教育基本法により社会教育施設としての一つとして県が設置に努める施設と定められている。
指定管理者制度	県立図書館は、教育と文化の発展のための教育機関であり、県内図書館の中核館として市町村立図書館、図書館未設置町村、学校図書館への支援及び連絡調整等の推進に努める必要がある。 他県では、図書館を含む複合施設において、施設管理等の指定管理者制度を導入している例が殆どであり、本県は単独館であるため、費用対効果を含め検討が必要である。
業務等の見直し	平成25年度の「事務・事業見直し委員会」において県立図書館としての役割の明確化を図るため、市町村立図書館と同様の業務を整理するなど既存事業の見直しを進めるとともに、専門図書等の購入に重点を置いた資料収集に努めている。令和2年度県有施設あり方見直し最終報告では、県有施設として必要な施設ではあるが、市立図書館とのサービスの重複は解消すべきであり、見直しの方向性として、前橋市立図書館とのサービス重複の解消に向け、購入資料の差別化やアーカイブ機能の強化などの取組を進め、役割分担の明確化に努めている。また、令和5年3月に公表した「群馬県立図書館の在り方検討報告書」を踏まえ、機能として図書館との親和性が高い県立文書館との機能統合も念頭に、再整備について検討を進めている。
施設運営に当たっての課題	県立図書館を所管する県教育委員会は、新たな時代にふさわしい県立図書館の在り方を検討するため、「群馬県立図書館の在り方検討委員会」を設置、同委員会での議論を踏まえ、20年後を見据えた県立図書館の在り方について報告書を取りまとめた。 【実現に向けた課題】 ①多様な主体との協働 ②職員の人材育成・確保 ③デジタルバイド(※1)への対応 (※1)インターネットやコンピュータを使える人と使えない人の間に生じる格差 ④施設整備 ⑤文書館との統合 ⑥前橋市立図書館との機能連携